

浜松市立図書館評価（令和6年度） 案

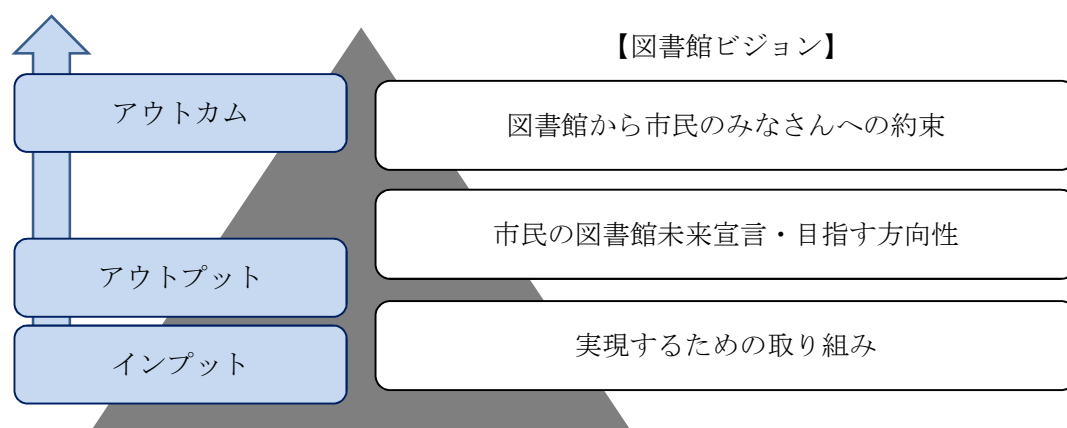
この評価は、平成30年10月に策定した「浜松市図書館ビジョン」に掲げている「図書館から市民のみなさんへの約束」の実現のために行うものです。

【図書館から市民のみなさんへの約束】

- あなたと『困った』を解決します。
- あなたと『うれしい』を育てます。
- あなたと『楽しい』を見つけます。

「図書館から市民のみなさんへの約束」実現のために、「市民の図書館未来宣言・目指す方向性」に沿って個別の事務事業を実施します。

事業を積み重ねることにより「図書館から市民のみなさんへの約束」を常に市民のみなさんが享受するとともに、図書館に対する満足度が向上することを目指します。



市民の図書館未来宣言評価シート（令和6年度）

市民の図書館未来宣言	【いかす】	外部評価【】	自己評価【A】	平均評価点【】
		平均評価点【】	平均評価点【4.40】	

《評価指標》

指標	目標	実績	達成率	評価点	平均評価点
1 図書館HPアクセス件数 (件)	1,393,608	1,319,100	94.65%	4	4.40
2 市民1人当たりの貸出冊・点数 (冊・点)	5.49	5.35	97.45%	4	
3 はままつ電子図書の貸出冊・点数 (冊・点)	12,471	15,106	121.13%	5	
4 外国語資料の貸出冊・点数 (冊・点)	19,249	20,161	104.74%	5	
5 障がい者向け資料の延べ利用者数 (人)	17,466	15,931	91.21%	4	
6 利用に関するアンケート調査における満足度「館内の居心地、座席数等に満足していますか？」 (点)	—	4.16	—	—	

《目指す方向性・実践できた取組》

- ICT(情報通信技術)を活用した図書館サービス
 - SNSを利用した広報
 - ⇒X(旧Twitter)発信回数 18館 合計 5,263件
 - Instagram発信回数 浜北、舞阪、雄踏、春野 合計 644件
 - 講座等の申し込みや受講へのICTの活用
 - ⇒WEBフォームでの申し込み:郷土研究講座ほか、計22回
 - 講演会・講座などのICTを利用した配信
 - ⇒郷土研究講座延べ3回、学校図書館補助員研修会1回、学校図書館補助員連絡会1回
- 貸出、返却サービスの利便性向上
 - 図書館アプリ等の活用による多様な方法での貸出サービス。
 - ⇒アプリ、図書館ホームページのバーコード表示、非接触型のバーコードスキャナ、マイナンバーカードでの貸出など、利用者カードの多様化
- 多文化サービスの推進
 - 浜松国際交流協会など地域の多文化共生に資する団体との連携
 - ⇒外国人向け図書館ツアー4回、夏休みこども教室(国際課と共催)5日、多文化サービス講座(国際課と共催)1回
- 多様なニーズに対応した環境づくり
 - 読書バリアフリーに資する機器や資料の充実とPRの実施。
 - ⇒読書バリアフリー体験会の実施(1回)、バリアフリー図書ミニコーナーの設置

《利用に関するアンケート調査における主な意見》

主な意見
・ ホームページで予約したり検索できるので、大変便利で利用させてもらっています。(浜北) ・ ホームページで予約ができ、届くとメールが来るのが助かる。借りられる本の種類が増えた。(天竜) ・ 子どもたちが図書館が大好きでいろんな図書館に行きますが、年を重ねるごとに職員の方が子どもたちによく話しかけてくれて、クイズラリーやイベントごとにプレゼントがいただけたりとすごく親近感が湧いているように思います。(web) ・ 明るく居心地の良い図書館。テーマ展示楽しく利用しています。(東)

《自己評価》

実績・成果に関する説明と考察
・ 講演会・講座申込受付の殆どをWEBフォームへ移行した。一方、電話や来館での受付も並行して行い、申込の選択肢を広げておく。 ・ ICTを利用した講演会・講座等の配信については、講師の要望(扱う資料の著作権問題、配信では満足のいく説明ができない等)や、昨年度の配信希望者数が大きく伸びなかったことに加え、会場参加者からの要望(撮影機器類により視界が遮られる)などにより実施する回数が減少した。 ・ 昨年度に引き続きの外国人向け図書館ツアーに加え、国際課と共催での夏休みこども教室、多文化サービス講座を実施した。 ・ 「読書バリアフリー体験会」は、マルチメディアデジターや拡大読書器の利用体験を通じて、図書館のバリアフリーサービスを知ってもらうことを目的としている。曇天で寒い日だったこともあり参加者は少なめだったが、「日程が合わずこれまで参加できなかったが、今年度やっと参加できた。」という声も聞かれ、継続開催の必要性を感じた。

今後に向けた課題
・ ICTを利用した講演会・講座の配信については、会場での受講者およびWEB受講者双方がストレスなく受講できるような運営に努める。 ・ 多文化サービスの一環として、これまで英語・ポルトガル語・中国語の利用案内を準備していたが、母語や生活言語の多様化により、需要と合わなくなっている。今後は「やさしい日本語」の活用など、言語を特定せずにできるサービスを進めたい。

《外部評価》

図書館協議会による評価の内容
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

図書館協議会による意見、課題
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

市民の図書館未来宣言評価シート（令和6年度）

市民の図書館未来宣言	【はぐくむ】	外部評価【】	自己評価【A】	平均評価点【】
		平均評価点【】	平均評価点【4.50】	

《評価指標》

指標	目標	実績	達成率	評価点	平均評価点
1 18歳以下の利用者カード有効登録率（％）	35.86%	32.43%	90.44%	4	4.50
2 学校図書館への資料貸出冊（冊・点）数	19,200	18,724	97.52%	4	
3 ボランティア（読み聞かせボランティア）受入人数（人）	179	190	106.15%	5	
4 はままつ電子図書館蔵（コンテンツ数）（冊・点）	9,098	9,610	105.63%	5	
5 利用に関するアンケート調査における満足度「子供向けのサービス（おはなし会、ブックスタート等）」（点）	—	4.15	—	—	
6 利用に関するアンケート調査における満足度「講演会、講座、企画・テーマ展示等に満足していますか？」（点）	—	3.90	—	—	

《目指す方向性・実践できた取組》

- 子供の読書環境の充実 ～『子供読書活動推進計画』の促進～
 - 主として小学生を対象とした、おすすめ図書リストの改訂。
⇒掲載図書の選定と紹介文の作成。
- 子育て支援サービスの充実
 - 保護者向け絵本講座をより参加しやすい方法で実施する。
⇒「絵本講座～おうちで読み聞かせを楽しもう～」4会場12回。より参加しやすい日程を設定。
- ライフステージ・ライフスタイルに応じた資料・情報提供と講座等の開催
 - 読書バリアフリーに配慮した資料の充実をはかると共に、障がい者サービスボランティアの養成講座に引き続き取り組む。
⇒障がい者サービスボランティア140人
- 多様な資料の収集・提供
 - はままつ電子図書館における多様な資料の収集・提供
⇒資料数:9,610点、閲覧数:44,195件、貸出数:15,106件

《利用に関するアンケート調査における主な意見》

主な意見
- 毎月のテーマ展示が楽しみです。自分では見つけられない作品に出会えることが嬉しいです。（北） - ブックスタートに参加したことで、その後も本を読む習慣ができた。（web） - テーマ展示で新しい本に出会えます。ありがとうございます。（web）

《自己評価》

実績・成果に関する説明と考察
- おすすめ図書リストの改訂について、月1回の編集会議を設定し、計画的に作業を進めることができた。R7年度は校正とレイアウトの調整を行い、年度内の発行を目指す。 「絵本講座～おうちで読み聞かせを楽しもう～」について、内容は「パパ・ママ絵本講座」を引き継ぐもので、R5年度は並行して開催していたが、R6年度は完全に移行した。既成の行事と組み合わせることで、より参加しやすい日程を設定できた。行事に併せて参加する人だけでなく、この講座のために来館する人もあり、潜在的な需要を再認識した。 - 電子図書については、各分野の資料1,966点を追加収集し、（期限切れ資料の更新を含む）計9,610点の資料を利用者に提供した。貸出回数は15,106回で月平均約1,259回となり、昨年度の約960回に比べて増加している。資料数の増加により利用も促進されるものと考え。

今後に向けた課題
・「絵本講座」について、図書館の利用者数や過去の講座参加実績、施設の規模、駐車場の有無などから開催館を決めているが、例年ほぼ同じ館での開催となり、地域が限定されている。市域全体を考えた開催場所を検討したい。 ・各分野の電子図書を収集したが、有効期限切れで継続して提供できない洋書コンテンツがあり、多文化資料を増やせなかった。利用者への多様な資料の提供を継続できる方法を検討する。

《外部評価》

図書館協議会による評価の内容
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

図書館協議会による意見、課題
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

市民の図書館未来宣言評価シート（令和6年度）

市民の図書館未来宣言	【つながる】	外部評価【】 平均評価点【】	自己評価【A】 平均評価点【5.00】	平均評価点【】
------------	--------	-------------------	------------------------	---------

《評価指標》

指標	目標	実績	達成率	評価点	平均評価点
1 ボランティア受入人数(障がい者サービスボランティアなど)	(人)	747	1,169	156.49%	5
2 「はままつ電子図書」行政資料の閲覧数	(件)	-	1,677	-	-
3 デジタル化した地域資料のアクセス件数	(件)	4,321,010	4,995,572	115.61%	5
4 自治体、企業、各種団体等と連携して実施した事業の件数	(件)	295	360	122.03%	5
5 利用に関するアンケート調査における満足度 「図書館職員による必要な資料や情報を見つけるお手伝い」	(点)	—	4.52	—	—

《目指す方向性・実践できた取組》

1 地域コミュニティにおける市民との協働、連携 ・おでかけ講座を利用した地域への講師派遣 おでかけ講座、おでかけおはなし会を引き続き実施。 ⇒おでかけ絵本講座11回 おでかけおはなし会(園・小学校等)24回、おでかけおはなし会(特別支援学校)5回 2 課題解決支援サービスの充実 ・医療情報の充実と活用PR ⇒医療健康情報コーナーの設置7館、健康講座7回 ・調べ方案内、レファレンス事例集やパスファインダーの整備 ⇒パスファインダーの更新、国立国会図書館運用のレファレンス協同データベースへの事例登録、 地区館から検索可能な業務端末への事例登録を実施 3 政策立案支援サービスの推進 ・議会図書室との連携による、議員活動に役立つ資料の調査、提供 ⇒R6年度の図書注文依頼5回、納品図書101冊、テーマ展示の協力3回 4 地域・歴史資料の収集、保存、活用 ・所蔵資料やデジタルアーカイブを活用した講座・講演会・展示等行事の開催 ⇒講座3回、WEB受講含む参加者119人、展示7回 5 自治体、企業、各種団体との連携 ・庁内他課および外部団体との連携企画事業の充実 ⇒はままつ起業家カフェ、日本政策金融公庫等と連携した企画の実施 計343件
--

《利用に関するアンケート調査における主な意見》

主な意見
・現在、通信大学の学生であるが、大学の課題や自分自身の追求テーマの解決のための資料を探す事ができている。(都田) ・子どもの調べ学習で様々な本を借り、充実した内容にできました。(城北) ・一般向けの講座は、大変分かりやすく勉強になりました。数多く開催されることを期待します。(積志)

《自己評価》

実績・成果に関する説明と考察
・おでかけ絵本講座の受付件数は、コロナ禍で一旦縮小したものの、少しずつ増えている。 ・議会図書室から資料の収集依頼を5回受け101冊の収集に協力し、市議会議員の活動に協力した。また、議会図書室が提示するテーマに沿った図書館資料を集め、それぞれ2か月程度の期間の展示を3回行い、議会図書室利用者が閲覧できるようにした。その他、議会図書室の蔵書点検や除籍作業に図書館システムを活用する方法を教え、作業の効率化に協力した。 ・デジタルアーカイブのアクセス件数が目標値より上回った要因として、大型スキャナの導入が考えられる。自館での登録が可能となり、新たに100点ほどの資料を追加し、利用できるコンテンツが拡充された。また、R5年度に大河ドラマの影響でアクセス件数が増加したことにより、多くの人々にデジタルアーカイブが認知され、継続的な利用に繋がったことも要因のひとつと推測する。

今後に向けた課題

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・「おでかけ絵本講座」について、講話担当者のスキルアップを含め人材の育成を進めたい。 ・議会図書室のテーマ展示は、R5年度に2回しかできなかったものを目標どおり3回実施できた。今後も議会図書室用資料の追加購入やテーマ展示への継続的な協力を行っていくため、議会図書室側担当者との連携強化に努める。 ・より魅力的なデジタルアーカイブの構築を目指し、計画的に資料のデジタル化作業を進めコンテンツの充実を図る。 |
|---|

《外部評価》

図書館協議会による評価の内容

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ |
|--|

図書館協議会による意見、課題

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ |
|--|

市民の図書館未来宣言評価シート（令和6年度）

市民の図書館未来宣言	【つくる】	外部評価 【 】	自己評価 【A】	平均評価点 【 】
		平均評価点【 】	平均評価点【4.00】	

《評価指標》

指標	目標	実績	達成率	評価点	平均評価点
1 施設・設備の適切な整備・保全	(一)	4	4	4	4.00
2 職員1人当たりの研修参加回数	(回)	3.78	4.72	124.87%	
3 新聞、雑誌、テレビ、ラジオ等でのパブリシティ件数	(件)	65	54	83.08%	
4 利用者カード有効登録率	(%)	19.17%	17.75%	92.59%	
5 利用に関するアンケート調査における満足度 「お近くの地域の図書館に親しみますか？」	(点)	—	4.42	—	—

《目指す方向性・実践できた取組》

1 地域の実情に応じた図書館運営 ・ 図書館施設の改修、修繕に向けた関係課との調整 ⇒改修計画を進めるための関係課との連絡、調整を実施 2 図書館マネジメントの充実 ・ 学校図書館支援センターや、県読書アドバイザーの活用による市内小中学校への支援 ⇒補助員研修会(2回／同内容)、補助員連絡会に加え、初任者研修や進級処理研修会を実施 3 専門的職員の育成、確保 ・ 司書としての専門性向上を図るための、外部研修への職員派遣 ⇒直営館:35件、参加延べ181人、指定管理館:325件 参加延べ1,168人 4 図書館プロモーションの充実 ・ 市内各館からのSNSを活用したサービス情報の発信や、広報誌によるイベントや新着図書情報の発信 ⇒Xで各種講座等の開催および実施状況を発信。Instagram活用館も1館増加(5館) 図書館だより発行館も2館増加(19館)

《利用に関するアンケート調査における主な意見》

主な意見
・ 十分過ぎるほどの空間を作っていただき、ありがとうございます。引き続きよろしくお願いします。(都田) ・ 西伊場のそよら内に移設されるとのことで、明るく開放感のある図書館になることを期待します。(西) ・ SNSを活かして、臨時休館が分かりやすくなっている。(天竜) ・ 山間の地域自体が消滅しようとしている中、その地域が存在していた記録は残した方がいい。図書館が小さな地域の記録を継承する機関となってほしい。(web)

《自己評価》

実績・成果に関する説明と考察
・ 浜松市立図書館施設整備・保全計画について、関係各課と調整を図った。 ・ 国立国会図書館等のオンライン研修など、動画を活用した研修を積極的に実施した。図書館業務アドバイザーによる郷土資料の解説やレファレンス事例の共有など、図書館内でもスキルアップにつながる取り組みを実施した。 ・ XやInstagramに加え、「浜松市公式LINEちゃんべえ情報局」や「浜松市子育て情報サイトぴっぴ」への情報提供を積極的に行った。

今後に向けた課題
・ 令和8年度の南陽図書館大規模改修工事に向け、関係各課及び関連業者との連携に努める。 ・ 利用者カード有効登録率の低下が続いている。新規イベント等での利用者登録の宣伝をより活発に行うと共に、期限切れで更新せずに無効となる利用者への図書館を利用してもらうためのPRも行っていく。

《外部評価》

図書館協議会による評価の内容
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

図書館協議会による意見、課題
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

図書館から市民のみなさんへの約束

- あなたと『困った』を解決します。
- あなたと『うれしい』を育てます。
- あなたと『楽しい』を見つけます。

浜松市立図書館評価(令和6年度)

1 利用に関するアンケート調査における満足度「図書館の総合評価としてはいかがですか」

(満足=5、やや満足=4、ふつう=3、やや不満=2、不満=1とし、平均点を算出)

令和4年度	令和5年度	令和6年度
4.31	4.34	4.32

(点/5点満点)

令和6年度調査

調査期間: 令和6年9月1日(日)~9月20日(金)

調査対象: 図書館来館者及びWEBサイト利用者(自動車文庫利用者を含む)

調査方法: 図書館窓口で調査票を配布し、回収箱により回収
またはWEBサイトから回答

回答者数: 2,255人

2 利用に関するアンケート調査における自由記述より「図書館を利用して得られた成果」

《主な意見(図書館を利用して「できたこと」「解決したこと」「よかったこと」など)》

- ・ 歴史講座や小グループへの説明をさせていただくことがあり、説明資料の裏付けなど内容精度アップへのご協力にいつも感謝している。(中央)
- ・ 子供の調べ学習で様々な本を借り、充実した内容にできた。本人の興味の幅も広がった。(城北)
- ・ トラブルで市役所とも相談し裁判を行った。法律の本のことで協力していただき助かった。(駅前分室)
- ・ 広い視野を得られ弁証法の確立につながる。(西)
- ・ ニュースや旅先の情報を知ることができた。(北)
- ・ ポルトガル語、中国語の学習書をたくさん読んだ。おかげで広く理解ができ、少しコミュニケーションを取れるようになった。(南)
- ・ 本好きになり、言葉の理解が深まり、知識が増えた。(舞阪)
- ・ 料理の幅が増えた。手芸・片付けなどに役立った。(はまゆう)
- ・ 病気をしてから医学の本をあちこちの図書館で借りて勉強している。知識が得られて助かる。(都田)
- ・ 子供が小さかった頃、よく利用した。おかげで本を読むのが苦にならない子に育ち感謝している。(浜北)
- ・ 子供の好きな本が借りられて、読み聞かせを通して親子のコミュニケーションが広がる。(天竜)
- ・ 地域の出来事などを調べることができた。こういう事はインターネットで調べることができないので、ありがたい。(web)
- ・ 子供の本をよく借りるが、本のおかげで虫に詳しくなったり、生き物や物語に関心を持つようになった。(城北)
- ・ 遠州国の歴史について知る事ができた。(中央)
- ・ 色々な知識を得たり、子供の夏休みの調べ学習に利用できたのは良かった。(春野)
- ・ ストレッチの方法、高齢者の生き方について学ぶ事ができた。(はまゆう)
- ・ 趣味の山歩きの情報を知ることができた。(web)
- ・ 単元別になっているので調べやすい。レポートをまとめるのに個室が利用でき集中できた。(城北)
- ・ テレビで視聴した用語などを調べて分かった、とてもストレスが減る。(南)
- ・ 野菜の作り方、道具の使い方で発見があった。(春野)
- ・ 法律の調べ物や書類の書き方などは、ネットでは分かりにくいので、本があつて良かった。(可新)
- ・ 家族が病気になった時、手術や治療などの不安も医療の本を読む事で解決することができた。(天竜)
- ・ 学校の授業で分からないことが、本で解決できた。(都田)
- ・ 子供が図書館に通うことを楽しみにしている。植物、生物、乗り物など、色々なことに興味を持ってくれるようになった。(北)
- ・ 学生時代から図書館で勉強した事が家庭、会社、世間でも役に立っている。(南)

《参考:「図書館から市民のみなさんへの約束」実現に向けたインプット》

1 経費に関すること		
	(1) 図書館費	R6決算 1,877,197 千円
	市民1人当たりの図書館費	2,385.89 円/人
	貸出冊数1冊・点当たりの図書館費	418.56 円/冊・点
	(2) 図書購入費(資料収集事業)	134,962 千円
	市民1人当たりの図書購入費	171.53 円/人
2 資料収集に関すること		
	(1) 資料数	2,638,514 冊・点
	市民1人当たりの資料数	3.35 冊・点/人
	一般ほか資料数	1,649,126 冊・点
	児童資料数	613,125 冊・点
	はままつ電子図書のタイトル数	15,106 冊・点
	外国語資料数	18,704 冊・点
	郷土資料数	186,692 冊・点
	視覚障がい者用資料数	16,157 冊・点
	AV資料数	51,439 冊・点
3 ソフト事業に関すること		
	(1) 一般向け講演会・講座など回数	325 回
	(2) 子供・親子向け講演会・講座など回数	434 回
	(3) 企画展事業数	240 本
	(4) 学校支援に関する講演・講座・コンクールなど回数	63 回
	(5) ブックスタート実施回数	492 回
	(6) おはなし会実施回数	864 回
	(7) ボランティア養成講座回数	88 回
4 運営に関すること		
	(1) 職員研修の実施及び派遣件数	35 件
	(2) 図書館利用促進活動の件数	20 回